

2010年1月1日～2025年12月31日の間に 当院歯科にて開窓術の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「上顎洞内に進展した病変に対する開窓術の効果の画像的検討」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田嘉信
研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 成瀬恵治

研究責任者 岡山大学学術研究院 医療開発領域 歯科 歯科放射線科部門 助教 岡田俊輔

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

口腔領域にサイズの大きな嚢胞や腫瘍が見つかったときの治療として、病変のサイズを小さくするために病変に穴をあける「開窓術」が行われることがあります。顎の骨の中の病変であれば周りの骨が増えることで小さくなっていくことが知られています。しかし上顎洞という鼻の左右にある空洞に嚢胞や腫瘍が広がっている場合には、小さくなっていく過程については研究が十分に進んでいません。

本調査は、岡山大学病院歯科にて上顎洞内へと広がった病変に対して開窓術を受けられた患者さんを対象とし、その画像検査等から得られる経時的変化を検討することを目的として行われます。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により、将来の口腔領域の疾患の治療に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2025年12月31日の間に当院歯科において上顎洞内へと広がった病変に対して開窓術を受け、画像検査による経過観察を受けられた方50名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2027年3月31日

3) 研究方法

2010年1月1日～2025年12月31日の間に当院歯科において上顎洞内へと広がった病変に対して開窓術を受け、画像検査による経過観察を受けられた方50名を研究対象として、画像上での経時的な病変のサイズ変化やその過程を解析します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、画像検査データ

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学学術研究院医療開発領域歯科放射線科部門医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院 医療開発領域 歯科 歯科放射線科部門

氏名：岡田俊輔

電話：086-235-6706（平日：9時00分～17時00分）